

2025年度 春学期 上智大学 グリーフケア人材養成講座 聴講生 募集要項

1. 聴講制度

大阪のグリーフケア人材養成講座修了生を対象に、本講座で開講している授業科目のうち水曜日(オンライン授業)開講の科目について、授業の運営に支障のない範囲で、聴講を認める制度です。ただし、ご自身が修了した課程までの科目が対象となります。例えば、グリーフケア人材養成課程を修了した方の場合、資格認定課程の科目を聴講することはできません。

| 修了した課程またはコースの名称 | 人材養成課程の科目 | 資格認定課程の科目 |
|-------------------------|-----------|-----------|
| グリーフケア人材養成課程 | | × |
| 資格認定課程 | | |
| 専門課程 | | |
| 臨床コース | | |
| 基礎コース・臨床傾聴士講座 | | × |
| 基礎コース | | × |
| 【大阪のみ】グリーフケア基礎コース | | × |
| 【大阪のみ】グリーフケアボランティア養成コース | | × |
| 【大阪のみ】グリーフケア専門コース | | × |

聴講生として科目を履修しても、単位の取得および成績評価を受けることはできません。

2. 聴講可能な科目は、1科目のみです。複数科目の同時聴講はできません。

3. 聴講できる科目は、以下7.の聴講開放科目一覧に記載されている科目のみです。

4. 出願

5. 出願期間 : 2025年3月24日(月)~3月30日(日)23時59分

出願方法 : 以下のURLまたはQRコードからMicrosoft Formsにアクセスし、「聴講生願書」に必要事項を入力の上、送信してください。

<https://forms.office.com/r/yvKpUXwtrt>



6. 決定通知

2025年4月1日(火)に、メールにて聴講を許可した科目の決定通知を連絡いたします。その際に、受講料の納入方法も説明いたします。

7. 聴講料の納入

2025年4月1日(火)から4月9日(水)までの間に、聴講料(1単位あたり12,000円)を納入いただきます。1科目24,000円となります。

納入いただいた聴講料は、当該科目が開講中止となった場合を除き、返還いたしません。

8. 聴講開放科目(2025年度春学期【大阪】)

聴講可能な科目は、水曜日開講の授業で、すべてオンライン授業(Zoom)で行います。

聴講可能な科目は、輪講形式で行います。各回の担当教員については、シラバスを参照してください。

2023年から水曜日の授業開始時間が18時30分となっておりますのでご注意ください。

| 課程 | 曜日 | 授業時間 | 科目名 | 講義回数 | 単位数 | コーディネーター |
|------|----|-------------|-----------|------|-----|------------|
| 人材養成 | 水 | 18:30～20:00 | グリーンケア原論 | 15 | 2 | 葛西 賢太 |
| | | 18:30～20:00 | グリーンケア援助論 | 15 | 2 | 西平 直 |
| 資格認定 | 水 | 18:30～20:00 | 精神医学・精神保健 | 15 | 2 | 村上典子、小笠原將之 |

【2025年度春学期授業日程】

【春学期】

| | 水曜開講日 |
|----|-------|
| 1 | 4月16日 |
| 2 | 4月23日 |
| 3 | 4月30日 |
| 4 | 5月7日 |
| 5 | 5月14日 |
| 6 | 5月21日 |
| 7 | 5月28日 |
| 8 | 6月4日 |
| 9 | 6月11日 |
| 10 | 6月18日 |
| 11 | 6月25日 |
| 12 | 7月2日 |
| 13 | 7月9日 |
| 14 | 7月16日 |
| 15 | 7月23日 |

| 課程 | グリーフケア人材養成課程 | | | |
|---------|---|----------|--------------|--------------------------|
| 科目名 | グリーフケア原論 | | | |
| 開講年度・学期 | 2025年度 春学期 | | | |
| 開講曜日・時限 | 水曜日 6時限 | | | |
| 単位数 | 2単位 | | | |
| 担当教員 | 葛西賢太(コーディネーター)、伊藤高章、栗原幸江、大村哲夫、竹内修一 | | | |
| 講義概要 | <p>上智大学グリーフケア研究所人材養成講座での学びの基礎を形成する入門科目。 当研究所は、グリーフ(悲嘆)を死別に伴う心的過程に限定せず、人生に不可避な様々な喪失体験に伴う心の反応と考え、ケアの対象と考えている。したがって、グリーフケアは、人生の危機に直面した人間性への総合的なケアである。また、グリーフは、人間のスピリチュアリティの最も根源的な表現でもあり、グリーフケアはスピリチュアルケアの基礎である。</p> <p>この講義では、グリーフケアとは何かについて全体像を学ぶとともに、ケア提供者の姿勢についての理解を深める。特に、精神医学的・心理学的な援助にくわえて、思想・宗教・伝統・文化の歴史性・多様性に注目しつつ行われるグリーフケアの背景と、その実践的、理論的理解を図る。</p> <p>適宜、ディスカッションの時間を設け、社会人受講生の経験を分かちあい、授業内容の深化を図るとともに、学びの内容がそれぞれの現場にどのような意味を持っているかを検討する。</p> | | | |
| 授業目標 | 1) 上智大学グリーフケア研究所人材養成講座での学びの焦点と受講生に求められる能力について理解する。 2) グリーフケアの全体像とケアの特徴を理解する。 3) グリーフケアとスピリチュアルケアの関係を理解する。 4) グリーフケア、スピリチュアルケアにおけるケア提供者の姿勢について理解し、実践力の基礎を養う。 | | | |
| 評価 | 学期末レポート | | | |
| 授業計画 | 授業日程 | | 担当 | 内容 |
| | 第1回 | 4月16日(水) | 葛西 | イントロダクション、グリーフケアの位置づけ(1) |
| | 第2回 | 4月23日(水) | 葛西 | グリーフケアの位置づけ(2) |
| | 第3回 | 4月30日(水) | 葛西 | グリーフケアの位置づけ(3) |
| | 第4回 | 5月7日(水) | 葛西 | グリーフケアの位置づけ(4) |
| | 第5回 | 5月14日(水) | 葛西 | グリーフケアの位置づけ(5) |
| | 第6回 | 5月21日(水) | 伊藤 | グリーフケアの理論(1) |
| | 第7回 | 5月28日(水) | 伊藤 | グリーフケアの理論(2) |
| | 第8回 | 6月4日(水) | 伊藤 | グリーフケアの理論(3) |
| | 第9回 | 6月11日(水) | 栗原 | グリーフケアの実践(1) |
| | 第10回 | 6月18日(水) | 栗原 | グリーフケアの実践(2) |
| | 第11回 | 6月25日(水) | 栗原 | グリーフケアの実践(3) |
| | 第12回 | 7月2日(水) | 大村 | グリーフケアのこころみ(1) |
| | 第13回 | 7月9日(水) | 大村 | グリーフケアのこころみ(2) |
| | 第14回 | 7月16日(水) | 大村 | グリーフケアのこころみ(3) |
| 第15回 | 7月23日(水) | 竹内 | 悲しみの秘義と慈愛の交感 | |
| 教科書・参考書 | 参考書: 『増補版 悲嘆学入門』(坂口幸弘)昭和堂 『ともに悲嘆を生きる』(島蘭進)朝日新聞出版 『グリーフケア入門』(高木慶子 編)勁草書房 『死ぬ瞬間——死とその過程について』(E・キューブラー・ロス)中公文庫 | | | |

| 課程 | グリーフケア人材養成課程 | | | |
|---------|---|----------|--------------------|---------------------------|
| 科目名 | グリーフケア援助論 | | | |
| 開講年度・学期 | 2025年度 春学期 | | | |
| 開講曜日・時限 | 水曜日 6時限 | | | |
| 単位数 | 2単位 | | | |
| 担当教員 | 西平直(コーディネーター)、梶山徹、木本努、坂下裕子、田村恵子 谷山洋三、寺田眞治、保崎恵理子、三浦紀夫、横山正和 | | | |
| 講義概要 | 死別形態や対象者の違いによって、悲嘆の特徴とその援助方法や内容は異なってくる。また死別以外の社会における様々な悲嘆についても、その実践と方法は多様性をもつ。本講義では、具体的な実践方法や内容を当事者の視点を通して学ぶ。 | | | |
| 授業目標 | 1) 様々な悲嘆の特徴を修得し、実践方法についての理解を深める。 2) 受講生各人の実践に結び付ける。 | | | |
| 評価 | 期末レポート | | | |
| 授業計画 | 授業日程 | | 担当 | 内容 |
| | 第1回 | 4月16日(水) | 梶山 | がん患者とその家族のスピリチュアルケア(1) |
| | 第2回 | 4月23日(水) | 梶山 | がん患者とその家族のスピリチュアルケア(2) |
| | 第3回 | 4月30日(水) | 木本 | 死別父子家庭の現状－遺族からのメッセージ |
| | 第4回 | 5月7日(水) | 横山 | 子どもを亡くした親の悲嘆とその生きる世界(1) |
| | 第5回 | 5月14日(水) | 横山 | 子どもを亡くした親の悲嘆とその生きる世界(2) |
| | 第6回 | 5月21日(水) | 田村 | 緩和ケアの考え方と対人援助(1) |
| | 第7回 | 5月28日(水) | 田村 | 緩和ケアの考え方と対人援助(2) |
| | 第8回 | 6月4日(水) | 三浦 | 終末期から寄り添うグリーフケア |
| | 第9回 | 6月11日(水) | 三浦 | 障がい者福祉とグリーフケア |
| | 第10回 | 6月18日(水) | 三浦 | 司法と連携するグリーフケア |
| | 第11回 | 6月25日(水) | 保崎 | 犯罪被害者の悲嘆とその支援 |
| | 第12回 | 7月2日(水) | 寺田 | 大切な家族を亡くして ～犯罪被害者遺族の立場から～ |
| | 第13回 | 7月9日(水) | 谷山 | 東日本大震災での支援活動から |
| | 第14回 | 7月16日(水) | 坂下 | 幼子を亡くした悲しみと流産・死産の悲しみ |
| 第15回 | 7月23日(水) | 坂下 | 子ども・きょうだい児へのグリーフケア | |
| 参考書 | | | | |

| 課程 | 資格認定課程 | | | |
|---------|---|----------|----------------|--|
| 科目名 | 精神医学・精神保健 | | | |
| 開講年度・学期 | 2025年度 春学期 | | | |
| 開講曜日・時限 | 水曜日 6時限 | | | |
| 単位数 | 2単位 | | | |
| 担当教員 | 村上典子、小笠原將之 | | | |
| 講義概要 | 精神医学や精神保健に関する基礎知識を習得し、病的悲嘆を抱えたケースについて、事例を参考にしつつアセスメントと対応方法について学ぶ。 | | | |
| 授業目標 | 精神医学・精神保健の基礎知識の習得と、病的な悲嘆についてのアセスメント | | | |
| 評価 | レポート10割(村上担当:小笠原担当=5:5の配点) | | | |
| 授業計画 | 授業日程 | | 担当 | 内容 |
| | 第1回 | 4月16日(水) | 村上 | 精神医学・心身医学概論 |
| | 第2回 | 4月23日(水) | 小笠原 | 心理アセスメントと精神医学的診断/精神症状学 |
| | 第3回 | 4月30日(水) | 小笠原 | 不安関連障害/全般性不安症、限局性恐怖症、社交不安症、パニック症、強迫症、解離症 |
| | 第4回 | 5月7日(水) | 村上 | うつ病 |
| | 第5回 | 5月14日(水) | 小笠原 | 小児期・青年期精神医学、発達障害 |
| | 第6回 | 5月21日(水) | 村上 | PTSD、適応障害、心身症、身体症状症 |
| | 第7回 | 5月28日(水) | 小笠原 | 統合失調症、双極性障害 |
| | 第8回 | 6月4日(水) | 村上 | 身体疾患による喪失へのケア(コンサルテーション・リエゾン) |
| | 第9回 | 6月11日(水) | 小笠原 | 高齢者精神医学、認知症、自殺問題 |
| | 第10回 | 6月18日(水) | 村上 | 災害におけるグリーフケア |
| | 第11回 | 6月25日(水) | 小笠原 | パーソナリティ障害、摂食障害 |
| | 第12回 | 7月2日(水) | 村上 | 災害・救急領域におけるグリーフケア |
| | 第13回 | 7月9日(水) | 小笠原 | アルコール障害、薬物障害 |
| | 第14回 | 7月16日(水) | 村上 | 様々な悲嘆の実例 |
| 第15回 | 7月23日(水) | 小笠原 | 地域精神保健、精神医学と法律 | |
| 参考書 | | | | |